

品種特性

① 紫色で丸形の一代交配種

「ニューコメット」より草勢が強く、適期栽培においてはタネまき後25日で根径2cm程度になります。根部は美しい丸形でよくそろいます。根色は光沢のある濃い紫色で肉色は白い品種です。

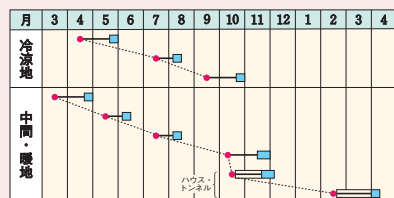
② 草勢旺盛で裂根が少なく作りやすい

「ニューコメット」より肥大がやや遅いですが、え入りが遅く、裂根やくず根の発生が少ないため栽培が容易な品種です。

③ 品質がよい

肉質はみずみずしく歯切れがよいのでサラダや酢漬に向いています。

■「ルビーコメット」適期表



ポイント

- ✓ 紫色で丸形の一代交配種
- ✓ 草勢旺盛で裂根が少なく作りやすい
- ✓ タネまき後25日で根径2cm程度となる



発表!

一代交配

紫丸二十日ダイコン

「ルビーコメット」

生育が早く、そろいのよい濃紫のF₁丸形ラディッシュ!

ラディッシュ(紫丸二十日ダイコン)は栽培期間が短く、また小さなスペースで作れる野菜の一つです。赤丸タイプの「ニューコメット」の兄弟品種として、濃紫の一代交配種「ルビーコメット」を育成しました。料理の彩りとして、バラダ菜園から直売所、市場出荷まで幅広く活用いただけます。

紫丸二十日ダイコン「ルビーコメット」栽培メモ

最適播種期	冷涼地: 5月まき、8月まき 中間地・暖地: 4~5月まき、9~10月まき
基本肥料の目安(10a)	元肥NPKすべて約8kg
播種基準	条間10~15cm、株間5cm



タキイ研究農場 田中 寛

■ 家庭菜園向け

栽培を成功させるためには、裂根や変形の原因となる乾燥に注意しましょう。

① プランター栽培…高温期の栽培では、特に土壌表面が乾きやすいので水分管理には十分注意します。受け皿などで底面灌水を行い、プランターの下部をし

っかり保水して乾燥を防ぎましょう。

② 露地栽培…小さなスペースにもまけるので、ホウレンソウの条間などすき間での栽培がおすす

めです(アブラナ科以外の野菜の条間で作ると害虫の被害が少なく、葉陰になって土壌表面が乾きにくくなります)。

■ 直売所や市場出荷向け

周年出荷のためには適切な栽培管理、資材利用が必要です。

① 適切な栽培管理と適期収穫…

ラディッシュの根域は狭いので極端な乾燥、過湿を繰り返すとえ入り、裂根などの生理障害が発生します。良品生産のために保水性、排水性のよい畑で栽培しましょう。タネまきは条間

栽培ポイント

10cm程度に条まきし、本葉が展開するころに株間が5cm程度になるよう間引きします。その後、葉が込みあうまでに条間を1~2回中耕すると根部の生育がよくなります。

② 被覆資材の利用…周年出荷を行うためには厳寒期はハウスやトンネル内で「テクテクネオ」などのベタがけ資材を利用した栽培を行います。一方で酷暑期は「タキイホワイト」などの遮光資材を利用し、日中の気温、地温を下げる栽培を行います。さらに害虫の発生しやすい時期は「サンサンネット」を利用し、害虫の侵入を防ぎます。

「ニューコメット」と収穫時期をそろえるには

「ルビーコメット」は「ニューコメット」より肥大がやや遅い品種です。「ニューコメット」の播種を3~5日遅らせたり、株間を狭める(3cm程度)ことで同じサイズで同時に収穫することが可能です。